

令和6年度 仙台市宮城野障害者福祉センター 在宅障害者・一般市民向け事業「絵手紙製作教室」を開催しました

令和6年7月31日
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和6年7月26日（金）に、「絵手紙製作教室」を開催しました。
日本絵手紙協会の都築徳子氏を講師にお招きし、一般の方をはじめ、放課後デイサービスの子供たちと、その職員合わせて26名の参加となりました。

今回の教室では、暑中見舞いとして絵ハガキの製作とうちわの絵付けを行いました。
絵ハガキでは、ピーマンを課題に絵を描き、各々で色付けをしました。後半には、うちわを使用して表には色紙でちぎり絵の金魚を作り、裏にはスイカの絵にクレパスで種を描き、贈る方へのメッセージを考えながら暑中見舞いとして送ることができるうちわを製作しました。

最後には完成した作品を並べ、講師の先生が参加者の皆さんに出来栄を聞くと、「本当に楽しかった！」「孫に贈りたい！」「きれいに作れた！」などの感想を述べられ、皆んなで個性豊かな作品を鑑賞した。

今後も、障害のある方の社会参加への意欲を高めること、障害や障害のある方に対する理解を深めること、そして障害の有無にかかわらず、誰もが尊重し支え合う社会を目指して、センター事業の企画に努めていきたいと思えます。



ハガキサイズとうちわで発送できる暑中見舞いを製作。

